

Brambles

重大な事件の報告に関するグループガイドライン (Group Guidelines for Serious Incident Reporting Policy)

Brambles Limited

改訂: 2020年1月1日

バージョン 2.0

重大な事件の報告に関するグループガイドライン

重大な事件の管理責任は、問題に最も近いマネージャーにあります。ただし、責任ある企業市民としての Brambles の従業員、資産または評判に対して重大な悪影響をもたらす可能性のある事件が発生した場合、問題に対応するための適切なリソースを動員するために、事件を上級管理者に伝達する必要があります。

この目的のために、重大な事件は、以下のうちのひとつまたは複数を伴う(あるいは伴う可能性がある)ものとします。

- 従業員、請負業者または一般人の死亡
- 深刻な環境被害をもたらした(またはもたらす可能性のある)事件・事故
- 会計方針、内部会計統制、監査関係事項からの実行された、または未遂に終わった逸脱(Bramblesの財務記録に対する準備、評価、確認もしくは監査における詐欺行為もしくは故意の過失、またはBramblesの財務記録、財務報告書もしくは監査報告書の内容に関する不正確な表示または虚偽の陳述など)
- 実行された、または潜在的な違法行為、詐欺、利益相反
- 米国海外腐敗行為禁止法、英国贈収賄法などの贈収賄・汚職禁止関連の法律に対する実行された、または潜在的な違反
- 規制当局または地域の法執行機関による抜き打ちの立入調査などの取り調べ
- マスコミもしくは一般大衆からの批判、刑事訴追もしくは重大な訴訟、長期に亘る業務の停止、物的損害、または40万英ポンド、50万米ドル、100万豪ドルもしくは60万ユーロを超える損害賠償(保険適用後)をもたらした(またはもたらす可能性のある)事件・事故

これらの事件は全て、**現場で責任を負う幹部**に伝える必要があります。幹部は、**社長、または CEO** および以下の人物に報告します。

- グループコントローラー
- 内部監査&リスク担当 グループ バイスプレジデント
- 法務責任者およびグループ総務責任者

さらに、上述の範囲で事件が実際に重大性を伴うと思われる場合は、当該事業の社長またはCEOは、Brambles CEOにも直ちに報告します。ただし、上記の報告対象とは異なり、通常は潜在的な事件(「ニアミス」など)をBrambles CEOに伝える必要はありません。

幹部リーダーシップチームにはこのような事件を伝えます。

ただし、最優先原則は常識に訴えることであり、不確かな場合は報告します。

詳細な説明は、内部監査&リスク担当 グループ バイスプレジデントから入手可能な「重大な事件の報告と調査に関するグループガイドライン」に記載されています。